

# 主なサステナビリティ指標 103-2,103-3

花王はサステナビリティ指標を以下の通り定め、活動を推進しています。

## エコロジー

マテリアリティ	めざす姿	項目	実績				目標	実績	目標	SDGs※7
			2014	2015	2016	2017	2018	2020		
環境	事業活動による環境負荷を最小化し、地球1個分の暮らしの実現に貢献									
		CO <sub>2</sub> 排出量の削減率※1								
		(スコープ1・2)	▲28%	▲29%	▲30%	▲31%	▲32%	▲33%	▲35%	12 13
		(全ライフサイクルベース)	▲15%	▲17%	▲14%	▲14%	—	▲17%	—	
		(日本、全ライフサイクルベース)	▲16%	▲17%	▲16%	▲15%	—	▲18%	▲35%	
		水使用量の削減率※1								
		(花王グループ工場、オフィス全拠点)	▲38%	▲43%	▲42%	▲43%	▲39%	▲42%	▲40%	6 12
		(全ライフサイクルベース)	▲18%	▲21%	▲17%	▲19%	—	▲21%	—	
		(日本における消費者向け製品、製品使用时)	▲22%	▲24%	▲22%	▲24%	—	▲24%	▲30%	
		廃棄物等発生量の削減率※1								
		(花王グループ工場、オフィス全拠点)	▲27%	▲27%	▲25%	▲25%	▲32%	▲26%	▲33%	12
		“いっしょにeco”マーク表示製品売上比率※2	27%	28%	29%	29%	—	29%	—	6 9 12 13
		持続可能なパーム油の調達活動※3	—	PKO※3ミルまで追跡完了※4	PKO※3ミルまで追跡完了	PO※3ミルまで追跡97%完了	PO※3ミルまで追跡	PO※3ミルまで追跡98%完了	農園まで追跡	15
	持続可能な紙・パルプの調達比率※5	—	96%	99%	100%	—	100%	100%	15	
	社会への環境コミュニケーションにより環境活動を推進									
	環境コミュニケーション累積人数※6	24万人	46万人	69万人	91万人	120万人	123万人	100万人	12	
	SAICM推進活動を通して化学物質の適正な管理を推進し、持続可能な社会に貢献									
	花王優先評価物質の安全性要約書の公開件数	—	7件 (累計7件)	3件 (累計10件)	3件 (累計13件)	3件	3件 (累計16件)	累計20件	3 12	
	ケミカル製品のGPS安全性要約書の公開件数	47件 (累計77件)	12件 (累計89件)	18件 (累計107件)	18件 (累計125件)	16件	16件 (累計141件)	累計150件	3 12	

※1 原単位(売上高)、2005年基準

※2 日本における消費者向け製品、“いっしょにeco”マーク表示基準を満たした製品の売上比率  
“いっしょにeco”マーク：  
[www.kao.com/jp/corporate/sustainability/environment/statement-policy/eco-friendly-products/eco-together-logo/](http://www.kao.com/jp/corporate/sustainability/environment/statement-policy/eco-friendly-products/eco-together-logo/)

※3 花王グループで使用するパーム油を農園まで追跡可能とする活動の進捗、PKO:パーム核油、PO:パーム油

※4 他社より購入せざるを得ない誘導体の中には、2015年末時点でミルまでのトレーサビリティが確認できていないものが残った

※5 花王製品で使用する再生紙または持続可能性に配慮した紙・パルプ、包装材料

※6 出張授業、工場見学、環境イベントなどを通じた啓発者数、2014年からの累積人数

※7 SDGsの17目標中、花王グループの取り組みが寄与する目標の番号

# 主なサステナビリティ指標 103-2,103-3

## コミュニティ

マテリアリティ	めざす姿	項目	実績				目標	実績	目標	SDGs
			2014	2015	2016	2017	2018	2020		
健康	健康啓発人数※8	肥満・生活習慣病を予防・改善し、健康的な社会の実現に貢献	161万人	261万人	232万人	288万人	10万人	10万人	—	3
		感染症などを予防し、衛生的な社会の実現に貢献	612万人	754万人	753万人	829万人	682万人	723万人	1,200万人	3 6 12
高齢化	高年齢者の生活を支援し、心身共に健やかに年を重ねられる社会の実現に貢献	ユニバーサルデザイン視点での改良品の累積数※10	2,066	2,876	3,585	4,666	—	5,658	—	12
		ユニバーサルデザイン視点での改良実施率※10	80%	91%	71%	63%	—	56%	—	
コミュニティとのパートナーシップ	社会的活動を通じて地域の人々のより良い暮らしに貢献	社員に対するボランティア活動や情報の提供件数	79件	71件	67件	50件	75件	33件	80件	17
		社外向け情報発信を通じた啓発件数	71件	99件	59件	60件	70件	50件	80件	

※8 ウォーキング・内臓脂肪測定・歯磨き啓発イベント参加者数、QUPiO利用者数。2018年4月にQUPiO事業を売却したため2018年はQUPiO利用者数は対象外  
QUPiO:100万人分に及ぶ経年の健診データの集積と、東京大学との共同研究で得られた知見をもとに、健康増進・生活習慣病予防をサポートするためのプログラム

※9 日本およびアジアにおける、おむつ、手洗い、洗髪、清掃、洗濯、初経に関する啓発(啓発サンプリングや教育セットの配布含む)の対象者数

※10 ユニバーサルデザイン視点での改良品とは、接しやすさ(Accessibility)、安全(Safety)、使いやすさ(Usability)などの視点から改良した製品を表す。改良実施率は、新製品・改良品アイテム全数(品)に占めるユニバーサルデザイン視点での改良品数(品)比率。2015年までは日本国内、2016年は日本および米州、2017年からは日本、米州、欧州(サロン、モルトンブラウン社を除く)が集計範囲

## コーポレート・カルチャー

マテリアリティ	めざす姿	項目	実績				目標	実績	目標	SDGs
			2014	2015	2016	2017	2018	2020		
健全な事業活動	花王グループ全体への「正道を歩む」精神の浸透・定着	BCGテスト実施率	87.2%	96.4%	97.5%	97.1%	—	—※16	100%	16
		重大なコンプライアンス違反件数※11	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
ダイバーシティ&インクルージョン推進	社員の多様性尊重による、社員が生み出す価値の最大化	女性管理職比率	27.6%	27.5%	25.4%※12	25.1%	—	27.3%	30%※13	5
		女性管理職比率(日本)	10.1%	10.4%	13.1%※12	14.6%	—	18.4%	15%※13	5
		ダイバーシティ・マネジメント力の強化: マネジャー研修の累積受講率(日本)	—	—	8.2%	55.7%	100%	94.0%	200%※14	10
社員の健康づくりと安全な職場づくり	社員全員の健康意識(ヘルスリテラシー)、安全意識の向上	健康増進プログラム参加のべ人数	—	—	31,885人	36,259人	—	40,768人	35,900人	8
		休業度数率※15	0.54	0.61	0.67	0.55	0.20	0.77	0.10以下	8

※11 花王グループの業務運営における重大な法令違反を社内にて定義して管理

※12 グループ一体運営の推進に伴い、2016年にマネジメントの定義を見直し

※13 特に2020年目標として設定しているものではないが、次のマイルストーンとして速やかに達成したい目標

※14 2016年からのマネジャー研修の累積受講率

※15 100万のべ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数(休業1日以上および体の一部または機能を失ったもの)

※16 BCG活動の見直しのため、2018年は未実施